

# 令和8年度 教育目標及び指導の方針と重点

学校経営

## 教育目標

知・徳・体の調和のとれた将来有為な人材の育成

## 方針

〈めざす学校像〉

地域から信頼される学校

## 重点

### 1 学校運営の重点

- (1) 全職員の共通理解の下、是々非々のブレない指導を徹底するとともに、生徒一人ひとりの個性や努力を認めて伸ばし、自己肯定感と帰属意識を育てながら、その成長を促す。
- (2) 校内外のさまざまな教育活動において、生徒が活躍できる場を設け、生徒が1つ上を目指すことができるような指導を心がける。
- (3) 多様な価値観や個性、文化を認め合いながら自分も他者も大切にし、人間性豊かで社会に出て自立できる生徒を育てる。
- (4) 生徒の可能性を信じ抜く強さと温かさを持ち、生徒や保護者、地域から信頼され、安全・安心な学校づくりを推進する。
- (5) 関係諸機関との連携や外部人材等の積極的活用を通じて、地域に開かれた学校を目指す。
- (6) 業務の精選を進めるとともに、高い同僚性に裏付けられた職員集団の形成を目指す。

### 2 学習指導・進路指導等の重点

- (1) 生徒が主体的かつ意欲的に取り組める授業を推進する。
  - ア ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかる授業」の展開
  - イ 可視化や加点法を取り入れた評価による、意欲を喚起する学習活動の推進
  - ウ ICT機器等や学習支援サービスを活用した「主体的・対話的で深い学び」の展開
  - エ 新学習指導要領に基づく評価の在り方の研究及び探究活動の推進
- (2) 学校生活の様々な場面でコミュニケーション能力を育成する。
  - ア 演劇表現ワークショップやキャリア教育プログラムで身に付けたスキルの活用
  - イ 高等学校における通級による指導の汎用
- (3) 自己理解を進めるため、キャリア教育を推進する。
  - ア 各学年の進路課題に応じ、自己の在り方生き方を含めた勤労観・職業観の育成
  - イ 多様な進路希望に対応するためのガイダンスと個別相談の充実
- (4) 進路目標の実現と卒業後を見据えた学力・社会人基礎力の定着を図る。
  - ア 授業を基本とするとともに朝トレ等を活用した基礎学力の定着
  - イ 補習や外部模試等を活用した「伸ばしこぼし」のない学習機会の提供
  - ウ 多様な進路希望に応じた特色ある8類型（令和8年度入学生より7類型）の充実
- (5) 外国につながる生徒等への支援の充実を図る。
  - ア 入学から卒業後の進路を見通した組織的指導の展開
  - イ 国際クラス、学校設定教科「日本語」等における指導の充実
  - ウ 自身の語学力等の強みを生かした活躍の場づくりと地域連携の推進

### 3 生徒指導・教育相談・特別活動の重点

- (1) 社会で通用し、地域に信頼される人間を育成する。
  - ア 基本的生活習慣の確立や規範意識、道徳性、人権感覚等の涵養を図るための全職員による共通理解、同一指導の徹底
  - イ いじめの未然防止・早期発見や情報モラルの定着に向けた指導の充実
  - ウ 卒業後、社会の一員として社会への参画に向けた自覚や態度の育成
- (2) 生徒一人ひとりを大切にする支援を行う。
  - ア 生徒一人ひとりの支援のための教育相談体制の充実と職員間の情報共有
- (3) 自己有用感と思いやりの心を育成する。
  - ア 自身の個性に気づき伸ばす力の育成と、他者を認め共生する精神の醸成
  - イ 生徒会活動や部活動、ボランティア活動等の推進による自己有用感や思いやりの心の育成